

JA本渡五和自己改革取組宣言

これまで、これからも、地域とともに

JA本渡五和は総合事業を展開します。



『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』『地域の活性化』に取り組みます。
このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
そして、「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者(正組合員)が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業(JAバンク)、共済事業(JA共済)などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

具体的な取り組みは、別紙の第6次JA活動総合3カ年計画をご覧ください。主な取り組みを紹介します。

1. 農業者所得の増大、農業生産の拡大に向けた取組み

農業経営の安定と生産基盤の強化、産地一体となった安心・安全な農産物を持続的・安定的に生産できるようサポートします。

【主な取組み】

- 柑橘買取販売の実施 ● 生産資材の入札及び共同仕入れの実施 ● 営農経済渉外員TAC活動の開始
- JA本渡五和営農組織連絡協議会の設立 ● 無料職業紹介事業の開始 ● 農機ステーション事業の開始
- ICTを活用した出向く体制の機能強化と生産技術の向上 ● 和牛凍結精液導入事業の開始

2. 地域の活性化に向けた取組み

食農教育活動や生活支援活動を通じて、地域のニーズを捉え組合員の皆さまと地域の方々を結び役割を果たします。

【主な取組み】

- 移動販売事業の開始「移動販売車「くるもん」」 ● アグリキッズスクールの開催 ● 女性大学の開催
- 家庭菜園講習会の開催 ● JA本渡五和ウォーキング大会の開催

3. 事業関係の取組み

JA本渡五和は、地域にとってなくてはならない存在であり続けるため、また信頼いただけるJA運営を確立するため、様々な事業の見直しや取組みを行っています。

【主な取組み】

- 支店運営委員会の設置 ● 役員の新卒年部制新設と構成要件の見直し
- アグリフェスタ(農業祭)の開催 ● 未来塾(中核人材育成研修会)への職員推薦

なお、当JAの営農指導事業の主な取り組みは次の通りです。(農業振興積立金：1億円)

- ① 新規就農者支援や営農相合法人支援・集落営農組織の育成に取り組みます。
- ② 出向く指導体制と相談機能強化を図ります。
- ③ タブレットを活用した生産・販売情報の共有ならびに発信を行います。